

# プラウド 目黒本町

PROUD MEGURO-HONCHO

No. 19-012-2014作成  
新築  
集合住宅

土地売主	常和不動産株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
建物売主	野村不動産株式会社		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
設計・監理	(株)安藤・間 一級建築士事務所		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他			
施工	(株)安藤・間 首都圏建築支店					

## 際立つ建物の陰影と緑樹あふれる並木景観で新たなシンボルとなる住まい

### 設計概要

プラウド目黒本町は、便利施設が整った東急東横線学芸大学駅から徒歩12分の立地に加え、JR山手線目黒駅も利用できる地である。駅周辺には商店街やスーパーが揃い、春には桜並木も楽しめる落ち着いた街並みと、豊かな緑に彩られた公園が日々の暮らしに潤いをもたらしている。敷地は4面が街路に接する独立性の高い角地になっている。その利点を活かしつつ、街の新たなシンボルとなるような住まいをコンセプトに計画した。外構計画は近隣に配慮し、既存のクスノキを保存しつつ歩道状空地に並木を配置し、街並みに趣を添えている。外周部の緑陰の中で建物は最上階の底の水平ライン、住戸を区切るバルコニーの壁面の垂直ラインがひととき美しく際立つ景観を演出している。



南西外観

### 中庭を回廊する住まい配置

敷地中央にある中庭は、四季を感じさせるように高木、中木、低木、地被類がバランスよく配置されている。また、洗練された自然石が力強い存在感を印象付けており、この中庭を回廊するように住戸へのアプローチが形成されている。廊下手摺は乳白色ガラスを採用し、そこに映る緑影が住人に潤いを提供している。最下階の各住戸には専有テラスを設けることで、プライバシーを確保しつつ戸建の雰囲気を感じることができる場を演出している。



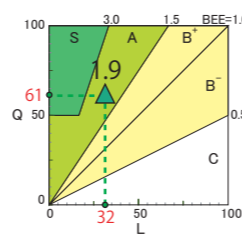
配置図



中庭 住戸アプローチ 専有テラス

建物データ	所在地	東京都目黒区
	竣工年	2014年
	敷地面積	2,453㎡
	延床面積	5,863㎡
	構造	RC造
	階数	地上6階

省エネルギー性能	省エネルギー性能	CASBEE評価
品格法省エネ対策	等級4	Aランク
LCCO <sub>2</sub> 削減	21%	BEE=1.9
		2008年度版 自己評価



### ゆとりと格調を備えた迎賓の設え

建物の顔となる車寄せを備えたエントランスは、石やタイルをふんだんに取り込んだたゞまいで、周辺街区の中でも存在感をはなちながら住人を温かく迎え入れている。邸内に歩みを進め、落ち着きに満ちたエントランスホールを通り抜けると、二層吹き抜けになった心地よいラウンジが待っている。明るくワイドなガラスカーテンウォール越しに植栽を眺めることが出来るコミュニティの場を提供している。



北側外観

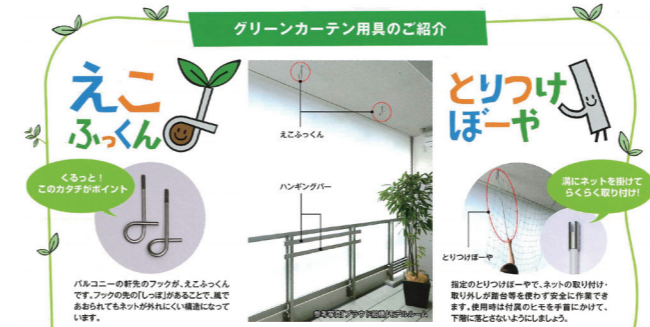


エントランスホール



二層吹き抜けのラウンジ

気軽に、安全に育てられる、プラウドのグリーンカーテンバルコニーには、グリーンカーテン用のフックが設置されており、指定の取付棒でネットが掛けられる。グリーンカーテンはマンションの顔づくりであり、エコに気づかう暮らしのシンボルとなっている。



※「エコふっくん」と「とりつけぼーや」は、野村不動産と建築金物の総合メーカー(株)ベストとの共同開発製品です。  
※「エコふっくん」実用新案登録済 登録代 3177382号



イメージ写真



バルコニー

### 高効率TES給湯器ecoジョーズ採用

ecoジョーズ採用によるCO<sub>2</sub>削減量は約2.71haのブナ林が吸収する量に相当し、地球温暖化防止に貢献している。また、年間使用ガスを13%削減するなど、ライニングコストの削減を実現した。

### 断熱性・遮熱性の向上

住戸のガラスはすべて複層ガラスを採用して断熱性の向上を図っている。また、一部の居室にはLow-E複層ガラスを採用することで断熱性・遮熱性を高め、特殊金属膜によって室内への紫外線も軽減している。

### 太陽光パネル採用

太陽光パネル採用により、化石燃料を使わず、日光を電力に変換し、温室効果ガスの排出を抑えている。その電力はパワーコンダクターを経由し、共用部の一部として建物に使用されている。



CO<sub>2</sub>削減効果概念図



複層ガラス



太陽光パネル

設計担当者

意匠：堀井芳郎、前田学／構造：佐藤容子／設備：藤木昭弘、富岡浩／デザイン監修：SKM設計計画事務所 柴田知彦

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化指数34%確保)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物外周部に緑化を施し圧迫感の低減を図る)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (日本住宅性能表示基準 省エネルギー対策等級4)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (太陽光パネル)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明、燃焼系潜熱回収瞬間式給湯器)